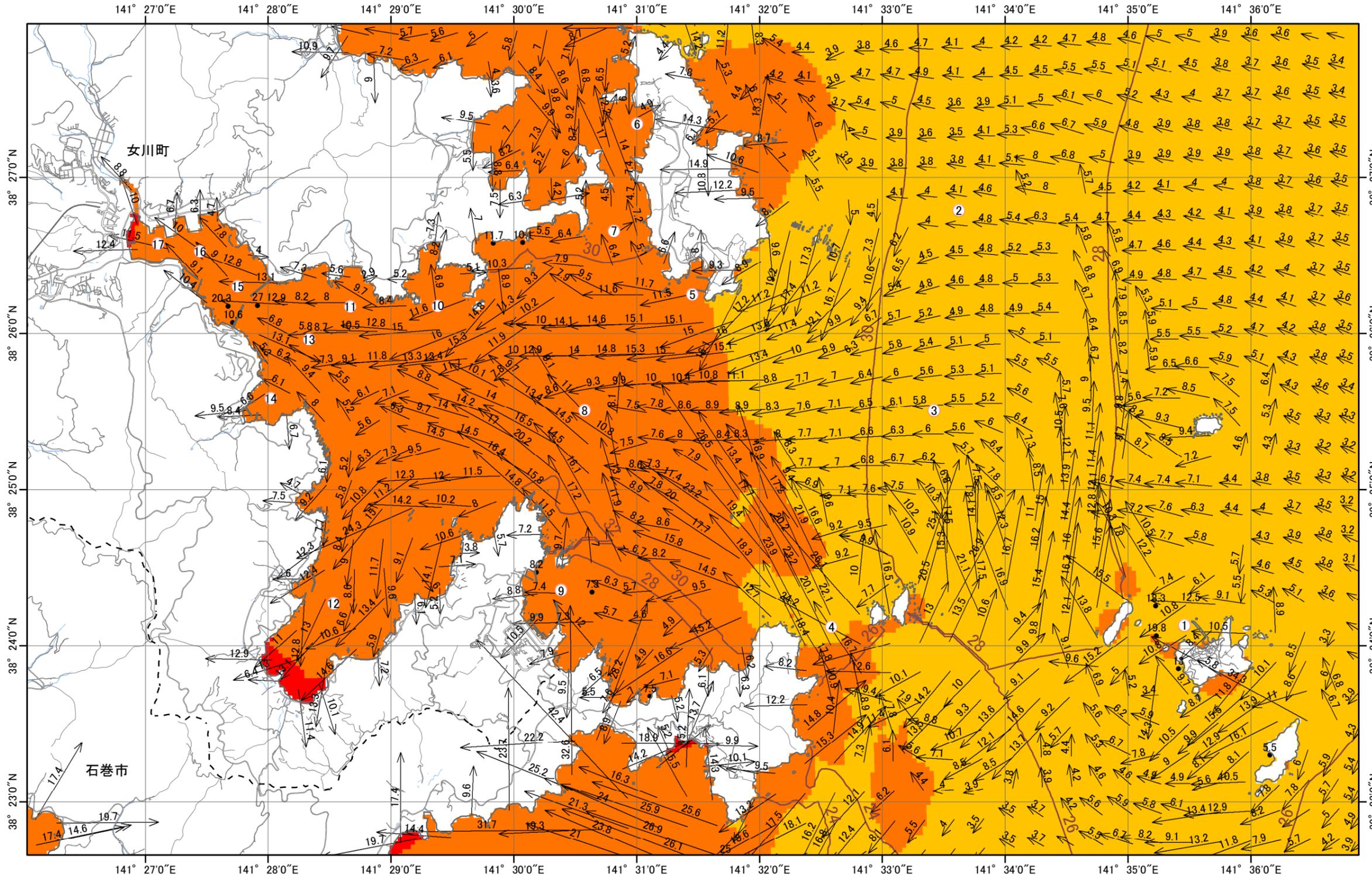




座標系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最高水面 (零位)  
隆起量： 平均 -1.74m (-2.04m ~ -1.36m)  
Zo： 0.89m  
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

- 20~最大21.5m
- 10~20m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

○ 経時変化図出力点

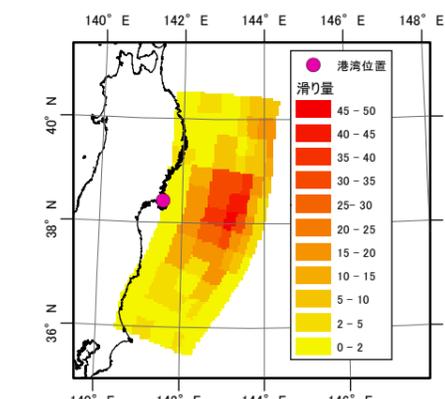
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

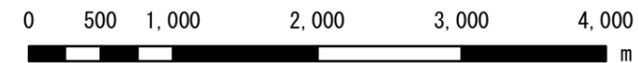
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点算出している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル



東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード Mw 9.0



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ  
・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基礎地図情報 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。

作成機関： 海上保安庁  
防災情報図作成年月： 平成31年2月 (初版)  
地形データ作成年月： 平成30年3月 (初版)